

総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主題 災害と人権

2 主題設定の理由【省略】

3 ねらい

災害発生時の避難所では生活困難者が増えることを理解し、自分たちに何ができるかを考えることを通して、人権を尊重する地域社会の一員としてできる行動しようとする態度と実践力を養う。

4 指導計画

(1) これまでの学習

- ・道徳科 「自分以下を求める心」（わたしの願い）・・・・・・・・・・ 1時間
- ・道徳科 人権教育講演会「防災と人権」（講師：乾和彦さん）・・・・・・・・ 2時間
- ・総合的な学習の時間 人権意見発表会・・・・・・・・・・ 3時間

(2) 現在の学習

- ・総合的な学習の時間 災害と人権・・・・・・・・・・ 2時間（本時2／2）

(3) これからの学習

- ・総合的な学習の時間 障がいのある人との共生・・・・・・・・・・ 3時間
- ・総合的な学習の時間 平和学習・・・・・・・・・・ 6時間

5 本時の学習

(1) 目標

災害発生時の避難所では生活困難者が増えることを理解し、自分たちに何ができるかを考えることを通して、人権を尊重する地域社会の一員としてできる行動しようとする意欲を高める。

(2) 個人人権課題名 災害時における人権問題

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 前時を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○ 本時の学習の方向付けをする。
災害で避難をしたとき、避難所で自分たちにできることは何か考えよう。	
2 避難所に来る人はどのような人が来るのか、どのような状況になるかを考える。	○ 避難所の写真を見ながら具体的に考えさせる。 ○ 他の人の意見を聞くことで、多様な価値観や考え方があることを理解させる。 ①
3 避難所において自分達にできる支援について考え、発表する。	○ ペアごとに担当を決め、意見を出し合い、ワークシートに書き発表させる。 ○ どのような支援が必要か、それぞれの立場に立って考えさせる。 ②
4 本時の学習を振り返る。	○ 学んだことを今後の生活にどのように生かしていくか考えさせる。

(4) 評価

- ・災害発生時の避難所では生活困難者が増えることを理解できたか。 (知識的側面) ①
- ・自分たちに何ができるかを考えることを通して、人権を尊重する地域社会の一員としてできる行動しようとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②